

科目名	政治学入門			ナンバリング	GEN224	授業形態	講義
対象学年	1	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	阿部慶徳	担当教員					

授業の概要	本講義では、学生が日本政治の基本的教養を身に付けることを目的とする。政治制度・行政制度や、政治家・官僚などの行政行為主体についての基本的知識を習得した上で、それらの制度や行為主体が、政策過程においてどのような働きをし、どのような形で日本政治を作り上げてきたのかを理解する。						
到達目標	1. 日本の政治制度及び政治学について基本的な知識を身に付ける。 2. 習得した知識を用いて課題を発見しその解決策を探り、成果を表現することができる思考力・判断力・表現力を身に付ける。 3. 主体性を持って他者と協同して学ぶ態度を学ぶ。 4. 公務員試験に合格できるだけの知識を学ぶ。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	【勉強方法】1. 授業前に、テキストの次回授業の該当箇所を熟読する。 2. 授業内での説明、自分で調べたことを配布したレジュメに書き込む。 3. 書き込みをしたレジュメと、テキストを熟読する。 【事前に履修しておくことが望ましい科目】リメディアル教育 【履修する上で求められる知識】中学・高校で学んだ公民の知識						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
	○	4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 政治学におけるキーワードについて説明できる。 2. 政治学に関する社会現象と、それに関連するキーワードを結びつけて、考えることができる。	1. 政治学のキーワード間の関係を理解した上で、概説することができる。 2. 政治学のキーワードを使用して、社会的事象を説明できる。 3. 学んだ政治学の知識を使って、公務員試験の問題を解くことができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○	○	○		35%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
中間確認テスト	○	○					30%
最終確認テスト	○	○					30%
IMUドリル1・2の政治・経済の合格	○	○					5%

課題、評価のフィードバック	1.毎回の小テストは、次授業の冒頭で解説を行う。 2.毎回のコメントカードによる質問に関しては、次授業の冒頭で答える。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス 政治学の視点と日本政治	講義全体の流れの説明。 社会科学としての政治学の基本的考え方を説明し、 講義の全体像を把握してもらう。	
	第2回	政治家	政治家の活動の実態について、解説する。	
	第3回	政党	政党の役割と日本における政党政治の歴史について、解説する。	
	第4回	国会	国会の機能、日本の国会の特徴について、解説する。	
	第5回	官僚制	官僚の生態を説明した上で、政治において官僚が果たしている役割と 官僚の役割意識の類型について、解説する。	
	第6回	選挙	有権者の投票行動の決定要因について、解説する。	
	第7回	マスメディアと政治	マスメディアが政治の世界において果たす役割について、解説する。	
	第8回	中間まとめ－第1回～第7回までのまとめ	第1回から第7回までの復習・要点整理を行う。 第1回から第7回までの理解度の確認試験を行う。	
	第9回	首相	日本政治における首相のリーダーシップの類型とその制度的要因について、解説する。	
	第10回	地方自治	日本の地方自治の実態を把握した上で、戦後日本の地方自治の発展について、解説する。	
	第11回	福祉国家と政治	福祉国家の発展要因を整理した上で、日本の福祉国家の発展について、解説する。	
	第12回	外交	戦後日本外交の歴史、戦後日本外交の原則、集団的自衛権について、 解説する。	
	第13回	戦後日本政治史 (55年体制の成立と崩壊：1955-1993)	自民党の結党から細川連立政権の成立へと至る55年体制の歴史について、解説する。	
	第14回	現代日本政治史と近年の政治情勢 (1994-現在)	1990年代の政治改革の時代から近年の政治情勢に至るまでの現代日本政治史について、解説する。	
	第15回	最終まとめ－第9回～第14回までのまとめ	第9回から第14回までの復習・要点整理を行う。 第9回から第14回までの理解度の確認試験を行う。	
	試験	定期試験は実施しない。		
授業の進め方		講義前に前回もらったコメントに対する返答をして、授業内では講義と質疑応答という形で進める。 講義後にはその日の講義について理解度を図る小テスト(レジュメの参照可)とコメントの記入をしてもらう。 (小テストとコメント記入を合わせて約10分程度)		
授業外学習の指示		授業前にテキストの次回授業の該当箇所を熟読すること。授業後は、配布資料を中心に講義の内容を復習する。 不明点は教科書や、manab@にアップしたコメントカードへの返事を読む等をして、不明点を解消すること。関連する公務員試験の問題を解いてみることもお勧める。 (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	教科書は使用しない。 授業内でレジュメを配布する。
参考書	講義中に適宜、紹介する。
参考URLなど	なし。
その他	連絡や資料の配布等にはmanab@IMUを使用するので、各自設定をすること。 受講態度:「質問・発言・発表」は加点、「授業妨害行為」は減点となる。